

## 愛媛支部

安心！ 安全！



7月に開催した二つの学習会について紹介します。  
12日（土）は健康対策部の学習会。愛媛県在宅介護研修センターの協力を得て、あき整形外科リハビリテーションクリニック副院長の吉野一弘氏に「健康寿命を目指すための秘訣」を教えてくださいました。生活習慣と体の関係やその仕組みなどをわかりやすく説明され、実際にみんなで体を動かしてストレッチもしました。

翌週の19日（土）は事業部の学習会「『防災』について学ぼう～南海トラフ地震・豪雨への備えは～」で、ひめ通研会長であり防災士でもある森川美恵子氏のお話をうかがいました。災害に備えるための心構えや準備物など詳しく説明され、阪神・淡路大震災や東日本大震災の際、現地で支援活動を行ったときの状況も知ることができました。後半はロールプレイとして、ろう者が避難所に来たときの対応を、受付、消防団員、健康相談係などに分かれて体験しました。

活動を心置きなく続けていくためには、日ごろからのケアや備えが必要だということを感じてくれた学習会でした。

あさいと  
結核

## 定例学習会3回目 夏の大学習会

『明日へ備えちょき～手話を学ぶ私たちが今できることやるべきこと～』をテーマに6月8日学習会を開催しました。

講師は（一社）全国手話問題研究会 研究・活動推進部次長、間船 博氏です。参加者34名、聴覚障害者協会理事の参加もあり充実した時間になりました。東日本大震災から14年が経過した福島県。間船理事が震災と原発事故で体験したこと、福島県聴覚障害者救援本部の様子などご講演いただき体験を乗り越えてきた視点での話はリアルで貴重なものでした。午後からはグループワークとし講演を聞いて私たちができる事これから取り組んでいく事について考え発表しあいました。参加された皆さんが自分の事として考えることができたと思います。



## 高知支部

とさ通研には防災士ラインがあり、聴覚障害者協会には7名の防災士がいます。この繋がりを中心にこれから取り組んでいきたいと思いました。

恒例の「の」「も」班学習会♪

## 香川支部

6月1日（日）聴覚障害者福祉センターにおいて、午前中は「これからの班」学習会、午後からは「これからも班」学習会を開催しました。

「の班」は香通研会員歴1～3年の方を対象にして、全通研・香通研のことを知ってもらい身近に感じてもらうと始めた学習会です。今回も未会員の方5名を含め20名の方が参加されました。お互いのことも知ろうということで自己紹介をしながら交流もでき楽しい時間を過ごしました。

午後からの「これからも班」は会員歴7年以上、もしくは50歳以上の会員の皆さんを対象にしている19名の参加がありました。内容は「ちょっと工夫して表現してみよう！～伝わりやすい表現あれこれ～」と題して、様々な表現を学習しました。思い違いをしていた表現を訂正・振り返りができたという感想や、みんなの頑張っている姿を見て刺激を受け、また手話を続けていく決心をした等、とても有意義な時間を過ごせました。



## 『応援しようデフリンピック！』

8月11日（月・祝）から「国際手話を学ぼう」（入門編）を開催しています。昨年に引き続いての入門編です。

講師は、兵庫県聴覚障害者協会理事の足立達也氏です。3回の対面学習と10回のオンライン学習の構成でおこなっています。受講生は、ろう者7名、聴者3名です。実際に使える手話の実力までには程遠いです。なかでもろう者の順応力には負けますが、学びたいという意欲がまさればなんのその！毎回楽しく受講し、できないなりに学べた感があります。



11月のデフリンピックへの大会ボランティアにはもれましたが、会場へ応援に行ったときには、使える手話として挨拶ぐらいいは完ぺきにして交流できる日が楽しみにしながら、次の講座が待ち遠しい面々です。まだまだ学ぶ機会がありますので、興味のある方はご連絡をくださいね！

## 徳島支部